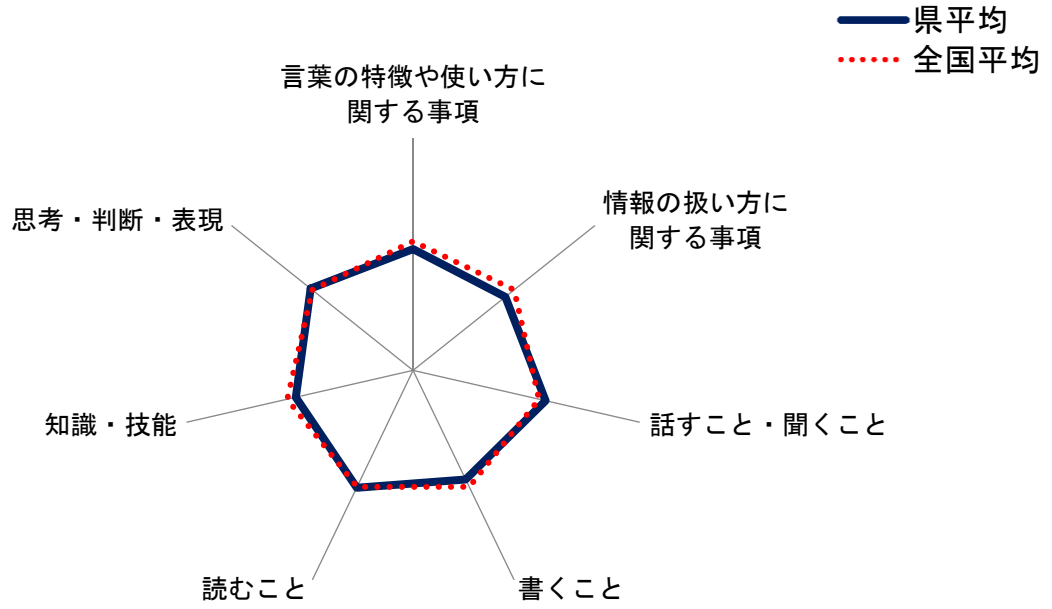
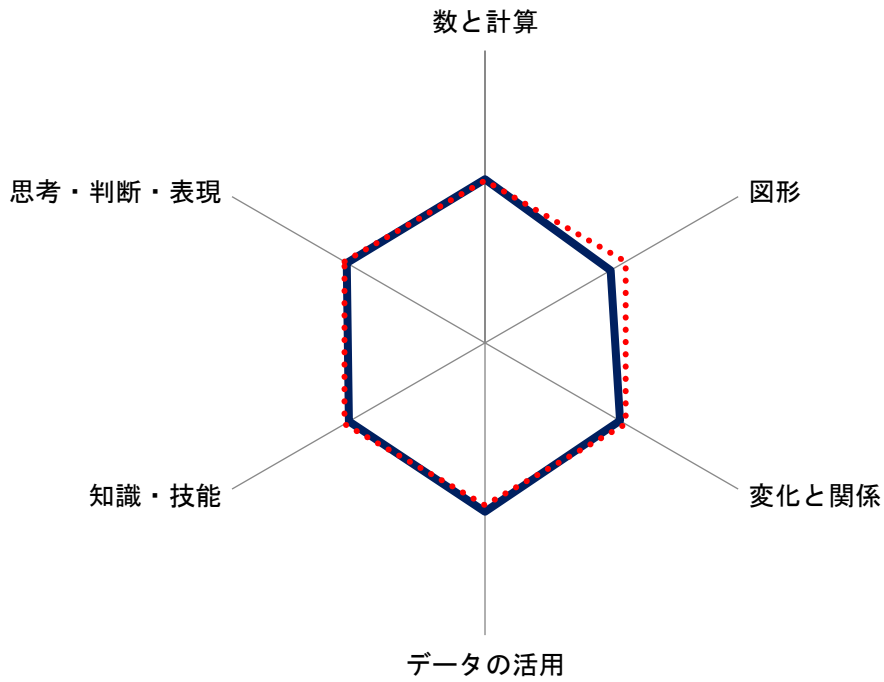


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

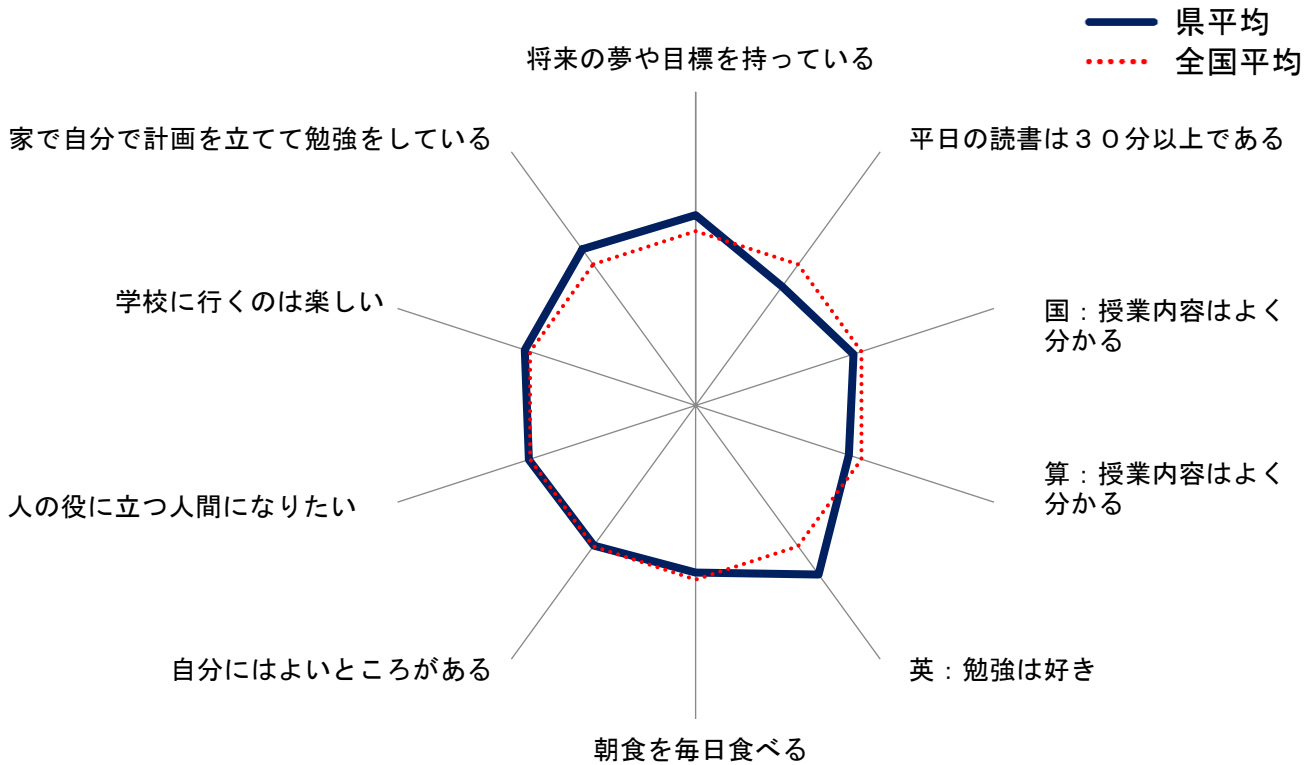
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「話すこと・聞くこと」、算数の「データの活用」などの項目が全国平均を上回っているものの、国語の「情報の扱い方に関する事項」、算数の「図形」の項目が全国平均を下回っており、基礎的な知識及び技能の定着と読解力に課題が見られる。今後は、資質・能力の育成に資する授業改善に視点を当て、これまで培われてきた愛媛教育のよさと適切なICTによる教育のベストミックスを図るとともに、読書習慣の定着など、本県の学びの課題克服に引き続き取り組むことで、更なる学校教育の質の保証・向上を目指していく必要がある。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」などの項目が前回調査に引き続き全国平均を上回っており、良好な状況が続いている。一方、「平日の読書は30分以上である」、各教科の「授業内容はよく分かる」の項目が前回調査に引き続き全国平均を下回っている。今後は、電子版読書通帳「みきゃん通帳」の効果的な活用により、日々の読書活動の充実を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を、県・市町・学校が一体となって取り組んでいく必要がある。